

平成22年度第2回函館市福祉計画策定推進委員会次世代部会における質問事項への回答

掲載ページ ・番号	事業名	質問事項	回答		所管課
P.2 (2)①	私立幼稚園 における季節学童預かり事業	目標と実績の数字がかけ離れているが、今後、目標達成に向けてどのように取り組むのか。	【資料の訂正】 施設数3か所→5か所 延利用者数2,238人→8,476人	・なお、訂正後の数値に関しては、26年度までに順次増やしていくという計画におおむね沿った数字であることから、今後も、これまでと同様に促進していきたい。  【参考】計画策定時の22年度から26年度までの各年度計画 ○私立幼稚園における季節学童預かり事業 [6か所→7か所→8か所→9か所→10か所] ○幼稚園における託児事業 [7か所→10か所→13か所→16か所→20か所]	総務課
P.2 (2)③	幼稚園における託児事業		【資料の訂正】 施設数3か所→7か所 延利用者数4,188人→3,170人		総務課 (教育指導課においては取り組み実績無し)
P.3 ⑧	放課後児童健全育成事業	・21年度から22年度にかけて箇所数が1箇所増えているが、利用者はあまり増えていない。このことについてどのように捉えているのか。公立がなくなったことにより、保育料の負担が増えるため、やめてしまった人がいるのではないか。 また、地域によっては待機児童が発生しているようであるが、その状況について教えていただきたい。	・入所児童については、公営学童保育所の民営化に伴う有料化の影響は見られたものの、傾向としては、入所児童数は増加している。 ・待機児童への対策については、桔梗小学校についてはH22年度から1か所新たに開設し対応している。また、北美原小校区、中の沢小校区については、H23年度から、それぞれ1か所ずつ新たに開設し対応するところである。		生涯学習課

※ 「私立幼稚園における季節学童預かり事業」および「幼稚園における託児事業」につきましては、事務局として、平成22年度第2回函館市福祉計画策定推進委員会次世代部会における資料「函館市次世代育成支援後期行動計画に基づく施策の状況について」をとりまとめる際に、数値を誤って記載したものであり、訂正してお詫び申し上げます。